



2023 Super FJ Race



Super FJ 鈴鹿・岡山シリーズ 鈴鹿クラブマンレース Final Round

2023年12月2・3日 天候:晴れ/ドライ 参加23台



2月25日に開幕した全8戦のシリーズもこのファイナルラウンドの2連戦で大団円を迎える。前大会は8月19～20日に残暑厳しい岡山で2連戦が行われたが、3カ月半のインターバルで季節は移り、秋を通り越して初冬の鈴鹿に戻ってきた。

エントリーは23台。チャンピオンシップをリードするのは白崎稜選手で82ポイント、2位には57ポイントで田中風輝選手がつけ、2人がチャンピオンの可能性を残して最終大会を迎えた。得点差は25ポイントだが、8戦中6戦の有効ポイント制のため第3戦から参戦を始めた田中選手が全ポイントが加算されるのに対して、白崎選手は2戦分のポイントを失う。その差は見かけほど大きくなさそうだ。

■第7戦公式予選(12月2日 午前11時～/晴れ・ドライ)

公式予選は午前11時より20分間で行われた。鈴鹿は雲一つ無い好天に恵まれたが、気温8度と冷え込んだ。

計測2周目、まずは小田優選手(AUTOBACS Drago CORSE KK-SII)が2分15秒228でトップに立つ。小田選手は筑波・富士シリーズの第7戦でデビューし5位、もてぎ・菅生シリーズ第7戦では3位表彰台で、ここ鈴鹿はS-FJ3戦目と注目のドライバーだ。2位には八巻渉選手(中日本自動車短期大学 MSE 学科 KK-SII)が15秒742で、3位には白崎稜選手(TAKE FIRST スタッフリソース)が16秒408でつける。

計測 3 周目、白崎選手が 2 分 14 秒 237 でトップに立ち、2 位には渡会太一選手(FTK レヴレーシングガレージ)が 14 秒 277 で上がってきた。3 位には開幕戦で優勝して以来参戦の岡本大地選手(FTK レヴレーシングガレージ)が 14 秒 607 で続く。

計測 4 周目、八巻選手が 2 分 15 秒 052 でトップに立つと、2 位には田中風輝選手(M2 engineering KK-SII)が 14 秒 129 で上がってきた。白崎選手は 3 位に落ちた。

計測 5 周目、トップ八巻選手はさらなるタイムアップを目指す、逆バンクでイエローフラッグが出たのを見てピットイン。予選を終えた。

計測 6 周目、ここまで 8 位につけていた迫隆真選手(EAGLE ERS S-FJ)がいきなり 2 分 13 秒 751 でトップに躍り出る。渡会選手も 13 秒 803 で 2 位に浮上。八巻選手は 3 位に落ちた。この周、白崎選手がシケイン立ち上がりでイン巻してスピン、コースアウト。ここで赤旗が提示され予選は終了した。

ポールポジション(PP)は迫選手。先々週に行われた初レースのもてぎシリーズで 2 位デビューした 16 歳。ここ鈴鹿では 1 度練習したのみで、いきなりポールポジションを獲得してみせた。2 位には渡会選手が、3 位には八巻選手が入った。

4 位にはランキング 2 位の田中選手が、5 位には赤旗原因となった同トップの白崎選手が、6 位には村田悠磨選手(Rn-sports 制動屋 Vierueka)が続いた。

第 7 戦の決勝は本日午後 3 時 5 分より 10 周で行われる。スタートが課題の PP 迫選手の蹴り出し、またチャンピオンを争っている 4 位田中選手、5 位白崎選手の争いにも注目だ。

○第 7 戦予選ドライバーコメント

ポールポジション 迫 隆真選手(EAGLE ERS S-FJ)

「前回のもてぎはハーフウェットの路面が難しくてタイムを上げることができませんでした。今回はそこを意識して予選に臨み、一発を出すことができてよかったです。周りより入念にタイヤを暖めたのでその差かなと思います。速さを見せることができたのはよかったです。バトルとか経験不足の部分もあるので、そこをカバーしていいレース展開を作って行けたらと思います。スタートが一番の問題で、まだ一回も成功したことがないので、そこが課題です。鈴鹿は先週 1 回練習しただけです」

2 位 渡会太一選手(FTK レヴレーシングガレージ)

「悔しいです。タイヤのウォームアップが来なかったのも、暖まらずに終わってしまいました。タイム差がコンマ 1 なので、決勝はうまくバトルしながら勝てたらと思います。ここ最近では勝っているのでちゃんと勝てるように頑張ります」

3 位 八巻渉選手(中日本自動車短期大学 MSE 学科 KK-SII)

「先頭で出たので位置取りとかタイヤの温めとかでのびのび走れてタイムが出ました。最速ラップを出したあとセクター 1 は決まって速かったんですが、逆バンクで黄旗が出てたので、距離を走るのをやめてピットに帰ってきました。走り続けたらタイムは上がったと思いますが、ポールは無理だったのでタイヤを温存しました。クルマの調子は悪くないのでタイヤのアドバンテージを生かして追い上げます」

■第7戦決勝(12月2日 午前11時~/晴れ・ドライ)

レースは午後3時5分にフォーメーションラップが始まった。気温11度と午前と比べ若干暖かくなった。1周を回り22台がグリッドに着きスタートが切られた。

予選2位の渡会太一選手(FTK レヴレーシングガレージ)が蹴り出しよく、ポールポジションの迫隆真選手(EAGLE ERS S-FJ)にイン並びかける。同3位の八巻渉選手(中日本自動車短期大学 MSE 学科 KK-SII)もアウトから狙い3ワイドとなるがここは中央の迫選手が1コーナーを制しトップに立つ。その後ろ、八巻選手と渡会選手が2コーナーにかけて並走するがここはイン側の渡会選手が2位、八巻選手は3位につけた。

3位八巻選手の背後には、ポイントリーダーの白崎稜選手(TAKE FIRST スタッフリソース)が4位で、好スタートを切った予選8位の岡本大地選手(FTK レヴレーシングガレージ)が5位で、チャンピオンシップを争う予選4位の田中風輝(M2 engineering KK-SII)が6位で続く。

トップに立った迫選手は2位渡会選手との差を広げ、3位八巻選手も渡会選手から離される。4位の白崎選手には5位の岡本選手がヘアピン立ち上がりからスプーンで背後につく。130Rでは白崎選手にアウトから仕掛けようとした岡本選手がスピン、360度回るがコース上にとどまり8位まで順位を落とした。

1周目、トップ迫選手は2位渡会選手を1秒5離してコントロールラインに戻ってきた。その1秒3後ろ、3位八巻選手と4位白崎選手との差は0秒6。5位には田中選手が、6位には村田悠磨選手(Rn-sports 制動屋 Vierueka)が、7位には予選13位から130Rの混乱をくぐり抜けてきた永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)が、8位には岡本選手が続く。

続く2周目の1コーナー入口では、4位を走る白崎選手が単独スピン。コースアウトしてグラベルでマシンを止めた。なんとチャンピオンを争うポイントリーダーの白崎選手が序盤で消える大波乱となった。白崎選手のマシンの排除のためセーフティカー(SC)が導入される。

2周目、SC中の順位はトップ迫選手、2位渡会選手、3位八巻選手、白崎選手が消えたため4位田中選手、5位村田選手、6位堂園選手、7位永原選手、8位岡本選手だ。

SCは3周終わりで退き、レースは4周目から再開される。迫選手はリスタートを決め2位渡会選手との距離を築くことに成功。3位八巻選手の背後には田中選手がつけ、1コーナーでインから3位に浮上。S字でも6位の堂園選手が村田選手を捉えて順位を5位に、8位の岡本選手も永原選手を捉えて7位に浮上してきた。

4周目、トップ迫選手と2位渡会選手の差は1秒。ここで渡会選手のスリップについた田中選手が1コーナーでアウトから2位に浮上した。3位に落ちた渡会選手だがあきらめず田中選手の背後につけ、チャンスをうかがう。

5周目の130Rでは、スプーン立ち上がりで4位八巻選手の直後につけた堂園選手が130Rでアウトから八巻選手を捉え4位に浮上した。

7周目にはトップを走る迫選手がこのレースのファステストラップとなる2分14秒330をたたき出して、2位に上がった田中選手との差を1秒3とする。



トップが8周目を走行中に、久保直也選手(AQUA だーはま Racing)が2コーナーでコースアウト。このため2度目のSCが導入されることとなった。これでトップ迫選手のアドバンテージはリセットされた。

SCは9周を回って退き、レースは最終ラップの1周で再開される。2度目のリスタートではトップ迫選手は2位田中選手との差を築けない。1コーナーではスリップについた2位田中選手に迫られ2コーナーで並走するが、田中選手を押し出し気味で押さえ込みトップを堅守。3位渡会選手も縁石に逃げた田中選手に並びかけようとするが、ここは田中選手が前、渡会選手は3位のままでポジションアップならず。

トップの迫選手はデグナーでミス。ここで2位の田中選手がヘアピン立ち上がりから再びトップの迫選手に急接近。スプーンではアウトから迫選手に並びかけるがここはインの迫選手が前。しかしオーバースピード気味で縁石に乗せた迫選手の立ち上がりが鈍ったため、バックストレートで再びテールトゥノーズとなる。そしてついに130Rで田中選手が迫選手を捉えてトップに立った。

ところが2位に落ちた迫選手も諦めない。シケインでは田中選手のインに並んで飛び込む、行き場を無くした形で田中選手はコースアウト。これで最後の最後に迫選手が再びトップに立った。失速した田中選手は、渡会選手と堂園選手にもパスされ4位でレースを終えることとなった。

優勝した迫選手はスーパーFJ参戦2戦目にしてポールトゥウイン。堂園選手も参戦2戦目で3位表彰台に立った。ともに16歳だ。

5位には八巻選手が入ったが、レース後の車検で車両規則違反が見つかり失格。繰り上がって5位に村田選手が、6位に岡本選手が入った。

明日の最終第8戦は午後1時5分より12周で行われる。決勝グリッドはこのレースの結果で決定されるが、6位までのリバースグリッド制のため、ポールポジションは6位に入った岡本選手、以下、村田選手、田中選手、堂園選手、渡会選手、迫選手のスターティンググリッドとなる。

チャンピオン争いをする白崎選手は20番手スタートとなった。

4位に入った田中選手は選手権ポイント10を追加し67ポイント。リタイアした白崎選手は82ポイントのままでその差は15ポイントに縮まった。田中選手は3番グリッドからのスタートで、優勝でチャンピオン、優勝できなければ白崎選手がチャンピオンとなる。



○第 7 戦決勝ドライバーコメント

優勝 迫隆眞選手(EAGLE ERS S-FJ)／第 8 戦 6 番グリッド

「速さがあるのはわかっていたので、一つ一つの動作を慎重に丁寧に、後ろとのギャップを築こうと走っていました。セーフティーカー明けに田中選手がきたのはきつかったです。最後のシケインですが、レースやるからには 1 位を目指さないといけないので、インの空いてるところを、気持ちで行きました。ルーキーで、なめられても困るので、このくらい行くぞというのを見せつけられてよかったですと思います。明日に向けてマシンのセッティングを含め向き合っていきます」

2 位 渡会太一選手(FTK レヴレーシングガレージ)／第 8 戦 5 番グリッド

「スタートは狙っていて蹴り出しはよかったんですが、前に出るところまでは行けませんでした。前半のうちに前に出ればレース展開は違ったと思うんですが、前についていくので必死でした。途中、田中君が来てからは譲りました。前の二人はレベルが違いましたね。SC は入るとは思ってなくて、運もあって最後 2 位になり最低限の表彰台は取れました。あしたはスタートポジション的にはきついですが、頑張っって追い上げられたらと思います」

3 位 堂園鷲選手(K デンタルオフィス☆ミスト)／第 8 戦 4 番グリッド

「いままでカートで今年初めてフォーミュラに乗りました。カートの無いときに出てますが、スタートがうまくいかずまだまだです。岡山のスーパーFJ が初戦で、鈴鹿は初めてでいろいろ分からないところが多かったです。スタートでエンストして順位が落ちてしまいました。運よく 3 番手になり表彰台に乗れてうれしいです。あしたは優勝できるように頑張ります」

■第 8 戦決勝(12 月 3 日 午後 1 時 5 分～／曇り・ドライ)

最後の戦いのフォーメーションラップは午後 1 時 5 分に始まった。上空の雲は徐々に増え、太陽は隠れた。気温は 14 度だが、1 コーナーに向かって吹く強い風のため体感温度はさらに低い。久保直也選手(AQUA だーはま Racing)がペナルティーでピットスタートとなったため 21 台がグリッドに着きスタートが切られた。



ポールポジションの岡本大地選手(FTK レヴレーシングガレージ)は好スタートを切りトップで1コーナーへ向かう。2位には村田悠磨選手(Rn-sports 制動屋 Vierueka)が、3位には田中風輝選手(M2 engineering KK-SII)がつけ、ここまではグリッド順。4位には5番グリッドから渡会太一選手(FTK レヴレーシングガレージ)が上がり、5位に堂園鷲選手(K デンタルオフィス☆ミスト)が、6位に小田優選手(AUTOBACS Drago CORSE KK-SII)が、7位に迫隆真選手(EAGLE ERS S-FJ)が続く。逆バンクでは渡会選手が田中選手を捉え3位に、ヘアピンでは迫選手が小田選手を捉え6位に浮上した。

スプーンでは3位渡会選手に4位田中選手が並びかけ、田中選手の直後につけていた堂園選手の3台が130R手前で3ワイドの攻防となる。ここからシケインにかけての争いは堂園選手に軍配、4位に田中選手が続き渡会選手は5位までドロップダウンした。

1周目、トップ岡本選手は2位村田選手を1秒5離して戻ってきた。3位に堂園選手が、4位に田中選手が、5位に渡会選手が、6位に迫選手が、7位に小田選手が、8位に永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)が続く。20番グリッドからスタートした白崎稜選手(TAKE FIRST スタッフリソース)は11台抜きで早くも1周で9位まで上がってきた。

2周目の1コーナーでは、ストレートで堂園選手のスリップについた3位田中選手がアウトから2位に浮上。スプーンでは白崎選手が永原選手を捉えて8位に浮上した。

3周目、2位村田選手のペースが上がらないため、シケインからストレートにかけ田中選手、堂園選手、渡会選手が追いつき、この4台が接近戦となる。4周目の1コーナーでは堂園選手が2位に浮上し、3位に田中選手、村田選手は2台にパスされ4位に落ちた。また、白崎選手が小田選手をパスし7位まで上がってきた。



2位に上がった堂園選手はトップ岡本選手に急接近。4周目に1秒9あった差を5周目に1秒3とすると6周目にはここまでのファステストラップを記録し0秒2差と背後についた。この間、白崎選手の勢いもとどまることをしらず、迫選手、渡会選手をパスして5位まで浮上した。

7周目の1コーナーでは、ペースの上がらない岡本選手を堂園選手が捉えつ

いにトップに立つ。

8周目、5位を走る白崎選手が1コーナーでインから迫選手を捉え4位に浮上すると、さらに130Rでは3位の田中選手にアウトから並びかけ、シケインでインからパス。この周、白崎選手は2台をパスして3位にまで上がった。

9周目、さらに白崎選手はスプーンでインから2位を走る岡本選手を捉え2位まで浮上した。

10周目、トップを走る堂園選手と2位に上がった白崎選手との差は1秒9。3位に落ちた岡本選手は力尽きたか、田中選手、迫選手にもかわされ5位に落ちる。



11 周目、トップ堂園選手と 2 位白崎選手との差は 1 秒 3 まで縮まった。しかしファイナルラップで逆転できる差では無く、堂園選手がトップでゴール。3 大会、4 戦目にして初優勝を飾った。2 位に入った白崎選手はチャンピオンを獲得した。

3 位には田中選手。チャンピオン獲得には優勝が絶対条件だったが、ペースが上がらず悔しいレースとなった。

11 周目まで 4 位につけていた迫選手はファイナルラップで 7 位までドロップ。4 位にはチームメートの岡本選手をパスしてきた渡会選手が、5 位には岡本選手が、6 位には小田選手が入った。

昨日のスピン、リタイアでほぼ最後尾スタート、チャンピオン獲得に黄信号のともった白崎選手だったが、次々と前車をパス。8 周目には直接のライバル田中選手をも捉えて、終わってみれば 18 台抜き。観客を魅了する快走で 2 位に入り、文句なしの戴冠となった。

今シーズンのスーパーFJ はこれですべてのシリーズが終了。鈴鹿・岡山シリーズは白崎選手がリードしてシーズンが始まったが、限定 A ライセンスを取得し、シーズン途中から参戦してきた 16 歳の田中選手、堂園選手、迫選手が台頭、優勝して白崎選手を苦しめた。

来週にはモビリティリゾートもてぎで S-FJ 日本一決定戦が開催される。この最終大会を盛り上げたドライバーたちの活躍に注目だ。

来シーズンのスーパーFJ も菅生・もてぎ、筑波・富士、鈴鹿・岡山、オートポリスの 4 シリーズが開催される。2 月 24 日には先陣を切って鈴鹿・岡山シリーズがここ鈴鹿で開幕する予定だ。限定 A ライセンスを取得した、若い才能あるドライバーの出現が楽しみだ。今年に勝る熱い戦いを期待したい。



第 8 戦ドライバーコメント

優勝 堂園鷲選手(K デンタルオフィス☆ミスト)

「昨日優勝するってチームの人にも言ったので、有言実行できてよかったです。タイヤの温めとかも意識して入念にできたので、序盤は他のドライバーより速かったです。S-FJ も今年から乗り始

めて、鈴鹿で初めて練習して、ここが一番練習量があり、いろいろ発見とかもあって、勝てたのでいい経験になりました。来週の日本一は優勝はもちろん、ポールポジションも取れるように頑張ります」

2位/チャンピオン 白崎稜選手(TAKE FIRST スタッフリソース)

「昨日のスピンを反省して、チームと話し合っただけでセッティングを変えたのがバッチリでした。ウォーミングアップでタイヤが暖まらない感じがあって、みんな同じなら無理して行こうと思いました。スタートもよくてレースの展開もあったのですり抜けることができました。ぼくより八巻さんの方が速かったのでもっと焦りました。最後、バックマーカーに引っかけなければ優勝にも届いたかも知れませんが。来週の日本一は昨日のレースのようなことはなく、しっかり頑張ります」

3位 田中風輝選手(M2 engineering KK-SII)

「今週 2 レースともマシンのバランスに悩まされました。チャンピオンは取れる可能性はあったんですが、最低条件の 1 位が取れなくて、速さが足りなかったです。昨日よりもマシンのバランス的に厳しかったです。来週の日本一は切り替えて優勝を目指して頑張ります」





2023 SUZUKA CLUBMAN RACE



Organized by **OCCK・SMSC**



No 3

鈴鹿・岡山S-FJ選手権 第7戦・第8戦

スーパー FJ 公式予選

2023 / 12 / 2 11:40



SUZUKA CIRCUIT

Full Course 4-Wheels(5,807m)

暫定結果表

Weather :Fine

Track :Dry

Pos	No	Name	Team/Car	Type	Tire	Best Time	Gap	Lap
1	71	迫 隆真	EAGLE ERS S-FJ	KK-S II	DL	2'13.751		7 / 7
2	7	渡会 太一	FTKレーシングガレージ	KK-S II	DL	2'13.803	0.052 0.052	7 / 7
3	88	八巻 渉	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL	2'14.052	0.301 0.249	5 / 6
4	2	田中 風輝	24systemタイヤサービス M2 KK-S II	KK-S II	DL	2'14.093	0.342 0.041	7 / 7
5	91	白崎 稜	TAKE FIRST スタッフリソース	KK-S II	DL	2'14.237	0.486 0.144	4 / 6
6	11	村田 悠磨	Rn-sports制動屋Vieureka	KK-S II	DL	2'14.410	0.659 0.173	7 / 7
7	56	堂園 鷲	Kンタルオフィス☆ミスト	KK-S II	DL	2'14.423	0.672 0.013	5 / 7
8	9	岡本 大地	FTKレーシングガレージ	KK-S II	DL	2'14.607	0.856 0.184	4 / 7
9	34	小田 優	AUTOBACS Drago CORSE KK-S II	KK-S II	DL	2'15.029	1.278 0.422	5 / 7
10	36	畔柳 拓武	イーグルスポーツ	KK-S II	DL	2'15.310	1.559 0.281	5 / 6
11	55	板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	2'15.427	1.676 0.117	5 / 7
12	1	元山 泰成	ECOTEH WORKS	KK-S II	DL	2'15.560	1.809 0.133	4 / 7
13	51	永原 蒼翔	ピットワークながはら/MYST	KK-S II	DL	2'15.760	2.009 0.200	6 / 7
14	15	梅本 幸汰	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	DL	2'15.793	2.042 0.033	7 / 7
15	47	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	DL	2'16.362	2.611 0.569	5 / 7
16	21	太田 浩	ミスト・セキグチ・制動屋	KK-S II	DL	2'17.090	3.339 0.728	5 / 7
17	17	中嶋 匠	Aviator A-ONE	KK-S II	DL	2'17.243	3.492 0.153	5 / 7
18	79	三瓶 旭	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL	2'18.191	4.440 0.948	6 / 6
19	32	天谷 伶奈	TODOROKI☆KKS II	KK-S II	DL	2'19.773	6.022 1.582	6 / 6
20	72	久保 直也	AQUAだーはまRacing	WEST07J	DL	2'22.714	8.963 2.941	6 / 6
21	98	JUN	BlueStyle・APR鹿児島ER2C	WEST17J	DL	2'23.199	9.448 0.485	6 / 6
22	45	山岡 正輝	PONOS M2 KK-S II	KK-S II	DL	2'37.562	23.811 14.363	5 / 5
***** 以上予選通過 (2'54.029 - 130%) *****								
	22	及川 正人	PONOS M2 KK-S II	KK-S II	DL	3'01.153	47.402 23.591	2 / 4



2023 SUZUKA CLUBMAN RACE



Organized by OCCK・SMSC

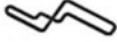


No 16

鈴鹿・岡山S-FJ選手権 第7戦・第8戦

スーパー FJ 決勝 Race1

2023 / 12 / 2 19:30



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Weather : Fine

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Track : Dry

Pos	No	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time		
1	71	迫 隆真	EAGLE ERS S-FJ	KK-S II	DL	10	26'15.138		2'14.330		
2	7	渡会 太一	FTKレウレーシングカレージ	KK-S II	DL	10	26'15.219	0.081	2'14.568		
3	56	堂園 颯	Kデジタルオフィス☆ミスト	KK-S II	DL	10	26'15.383	0.245	2'14.901		
4	2	田中 風輝	24systemタイヤサービス M2 KK-S II	KK-S II	DL	10	26'15.530	0.392	2'14.509		
5	11	村田 悠磨	Rn-sports制動屋Vieureka	KK-S II	DL	10	26'17.229	2.091	2'14.871		
6	9	岡本 大地	FTKレウレーシングカレージ	KK-S II	DL	10	26'17.753	2.615	2'15.043		
7	34	小田 優	AUTOBACS Drago CORSE KK-S II	KK-S II	DL	10	26'17.848	2.710	2'15.420		
8	36	畔柳 拓武	イーグルスポーツ	KK-S II	DL	10	26'20.502	5.364	2'15.356		
9	55	板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	10	26'21.886	6.748	2'16.170		
10	51	永原 蒼翔	ヒットワークながはら/MYST	KK-S II	DL	10	26'23.499	8.361	2'16.208		
11	47	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	DL	10	26'24.390	9.252	2'17.366		
12	15	梅本 幸汰	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	DL	10	26'25.865	10.727	2'16.688		
13	79	三瓶 旭	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL	10	26'27.175	12.037	2'17.646		
14	21	太田 浩	ミスト・セキグチ・制動屋	KK-S II	DL	10	26'27.381	12.243	2'17.351		
15	17	中嶋 匠	Aviator A-ONE	KK-S II	DL	10	26'28.038	12.900	2'17.407		
16	32	天谷 伶奈	TODOROKI☆KKS II	KK-S II	DL	10	26'32.843	17.705	2'20.163		
17	98	JUN	BlueStyle・APR鹿兒島ER2C	WEST17J	DL	10	26'37.153	22.015	2'23.075		
*1	18	1	元山 泰成	ECOTEH WORKS	KK-S II	DL	10	26'51.293	36.155	2'16.344	
	19	45	山岡 正輝	PONOS M2 KK-S II	KK-S II	DL	10	27'22.480	1'07.342	31.187	2'30.585
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****											
	72	久保 直也	AQUAだーはまRacing	WEST07J	DL	7	19'07.010	3Laps	3Laps	2'22.348	
	91	白崎 稜	TAKE FIRST スタッフリソース	KK-S II	DL	1	2'19.157	9Laps	6Laps		
*2	88	八巻 渉	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL		失格				

Fastest Lap

2'14.330 (7 / 10) 155.626 km/h 71 迫 隆真 / EAGLE ERS S-FJ

Start Time :15:09'51 Finish Time :15:36'06

Entry :23 Start :22 Finish :19

SC導入時刻 :①15:13'09(1Lap)~15:18'51(3Laps)、②15:29'51(7Laps)~15:33'49(9Laps)

*1 No.1は、競技結果に対して30秒加算 (鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則第54条1) (リスタート時の追い越し)

*2 No.88は、失格 (国内競技車両規則 第8章 第2条 2.7 ホイルベース/トレッド 最低地上高)



Final Round

2023 SUZUKA CLUBMAN RACE



Organized by OCCK・SMSC



鈴鹿・岡山S-FJ選手権 第7戦・第8戦

No. 19

スーパー FJ 決勝 Race2

2023 / 12 / 3 10:15



SUZUKA CIRCUIT

Full Course 4-Wheels(5,907m)

グリッド表



1	1 9 岡本 大地 FTK/グレース/グレース	2 11 村田 悠樹 Rn-sports/自動車/Viewreka
2	3 2 田中 風輝 24system/付付-ビス M2/KK-S II	4 56 堂園 賢 K/ン/付付/付付/付付
3	5 7 高倉 太一 FTK/グレース/グレース	6 71 池田 真 EAGLE ERS S-FJ
4	7 34 小田 優 AUTOBACS Drago CORSE/KK-S II	8 36 時野 拓哉 イーグ エス-フ
5	9 55 榎倉 慎哉 AMORE TOKYO/台表/台表/台表/KKS II	10 51 永原 貴裕 トット-フ/ながはら/MYST
6	11 47 山根 一人 光精工 TK-Sport MYST	12 15 梅本 幸汰 Rn-sports/自動車/KK-S2
7	13 79 三瓶 加 中日本自動車短期大学/MSE学科/KK-S II	14 21 太田 浩 付付-付付-付付/自動車
8	15 17 中崎 匠 Aviator A-ONE	16 32 天谷 伸康 TODOROKI/付付/KKS II
9	17 98 JUN BlueStyle-APR/台表/台表/ER2C	18 1 元山 泰成 ECOTEH WORKS
10	19 45 山岡 正輝 PONOS M2/KK-S II	20 91 白崎 健 TAKE FIRST/付付/付付-ス
11	21 88 八巻 淳 中日本自動車短期大学/MSE学科/KK-S II	付付-付付 72 久保 直也 AQUA/付付-付付/Racing

No.91, 72, 88 噴煙書が提出され審査委員会は、決勝レース出走を認めた。
No.72は、トットスタート(鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則第24条3)(タイヤ2本交換)



Final Round

2023 SUZUKA CLUBMAN RACE



Organized by OCCK-SMSC



No 28

鈴鹿・岡山S-FJ選手権 第7戦・第8戦

スーパー FJ 決勝 Race2

2023/12/3 14:35



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Weather : Cloudy

Track : Dry

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Pos	No	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	56	堂園 驚	Kデンタルオフィス☆ミスト	KK-S II	DL	12	27'02.252		2'14.569
2	91	白崎 稜	TAKE FIRST スタッフリソース	KK-S II	DL	12	27'03.566	1.314	1.314 2'14.228
3	2	田中 風輝	24systemタイヤサービス M2 KK-S II	KK-S II	DL	12	27'04.904	2.652	1.338 2'14.594
4	7	渡会 太一	FTKレウレーシングガレージ	KK-S II	DL	12	27'09.637	7.385	4.733 2'14.740
5	9	岡本 大地	FTKレウレーシングガレージ	KK-S II	DL	12	27'10.288	8.036	0.651 2'15.008
6	34	小田 優	AUTOBACS Drago CORSE KK-S II	KK-S II	DL	12	27'10.374	8.122	0.086 2'14.971
7	71	迫 隆真	EAGLE ERS S-FJ	KK-S II	DL	12	27'10.579	8.327	0.205 2'14.690
8	11	村田 悠磨	Rn-sports制動屋Vieureka	KK-S II	DL	12	27'15.127	12.875	4.548 2'15.193
9	88	八巻 渉	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL	12	27'15.193	12.941	0.066 2'14.992
10	36	畔柳 拓武	イーグルスポーツ	KK-S II	DL	12	27'17.864	15.612	2.671 2'15.067
11	1	元山 泰成	ECOTEH WORKS	KK-S II	DL	12	27'19.892	17.640	2.028 2'14.999
12	51	永原 蒼翔	ピットワークながはら/MYST	KK-S II	DL	12	27'28.488	26.236	8.596 2'16.386
13	55	板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	12	27'36.988	34.736	8.500 2'16.666
14	15	梅本 幸汰	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	DL	12	27'38.251	35.999	1.263 2'16.184
15	47	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	DL	12	27'40.066	37.814	1.815 2'17.106
16	79	三瓶 旭	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL	12	27'43.355	41.103	3.289 2'16.575
17	17	中嶋 匠	Aviator A-ONE	KK-S II	DL	12	27'54.354	52.102	10.999 2'18.039
18	32	天谷 侑奈	TODOROKI☆KKS II	KK-S II	DL	12	27'59.466	57.214	5.112 2'18.515
19	21	太田 浩	ミスト・セキグチ・制動屋	KK-S II	DL	12	28'17.453	1'15.201	17.987 2'17.735
20	98	JUN	BlueStyle・APR鹿児島ER2C	WEST17J	DL	12	29'08.881	2'06.629	51.428 2'22.742
21	72	久保 直也	AQUAだーはまRacing	WEST07J	DL	11	27'09.150	1Lap	1Lap 2'23.293
22	45	山岡 正輝	PONOS M2 KK-S II	KK-S II	DL	11	27'31.532	1Lap	22.382 2'27.697

***** 以上完走 (規定周回数 10Laps) *****

Fastest Lap

2'14.228 (7 / 12) 155.744 km/h 91 白崎 稜 / TAKE FIRST スタッフリソース

Start Time :13:09'54 Finish Time :13:36'56

Entry :23 Start :22 Finish :22

